

拝啓

この度の東日本大震災にあたり、励ましのお言葉やご丁寧なお見舞いを賜り、厚く御礼申し上げます。さらに、夜を日に継いで遠路各地から駆けつけていただきご支援を賜りましたことにつきましては御礼の言葉もございません。心より感謝申し上げます。

みやぎ生協には、県内の六七%の世帯が加入しております。それだけに、私たちはこの大災害の中での活動が、組合員のためにとどまらず、すべての地域と県民に責任のある取り組みと受け止め全力を挙げております。活動は、想像を絶するようなあまりにも悲惨な環境にまで及んでおります。また、残念ながら私ども十一名の職員の命が奪われ、家族や家を失った職員は多数に及んでいます。県内四八店舗中三店舗の再開の見通しが立っていません。建物の被害は、本部をはじめほとんどの施設に及んでおります。大変に厳しい中での事業と活動ではありますが、それだけに、皆様方から頂戴しました励ましは、何にもまして私どもを勇気付けるものとなっております。

私たちは今の活動を通じて、みやぎ生協自身の再生の決意をかためつつあります。

みやぎ生協は、「わたしたちは、協同の力で人間らしい暮らしを創造し、平和で持続可能な社会をつくる」ことをスローガンに掲げてまいりました。私たちはいまこその立場が試されているときはないと自覚しております。当面、今年度を三つの段階にくぎり、その重点を決めて新たな生協作りを進めます。九月二十日までを復旧期と位置づけ各事業の基本的な回復を目指します。すでに店舗では、店頭を使った供給活動を一部に残しながら、四月一日から通常営業に取り組んでいます。共同購入は、品目限定ながら三月二八日に注文書の配布を復活しました。皆様の励ましを糧として、このようにして生活協同組合が地域で果たすべき役割をかならず果たしてまいる所存でございます。

今後とも、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

本来なら、直接ごあいさつを申し上げなければならないところ甚だ略儀ではございますが、書中をもちまして御礼申し上げます。

敬具

二〇一一年四月

みやぎ生活協同組合

理事長 齋藤 昭子

専務理事 宮本 弘